

2002年7月30日

〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
総合政策学部 学部長 小島朋之
環境情報学部 学部長 熊坂賢次

アジア複数大学に向けたインターネット上の特別講義

～ タイ、ラオス、ミャンマー、インドネシア、マレーシア、ベトナムの10大学1研究所が参加 ～

慶應義塾大学総合政策学部と環境情報学部は、2002年6月18日～2002年7月18日に合計8講義をSOI¹ ASIAのプラットフォームを利用して、アジア6カ国11組織の学生・教員・研究者を対象に「IT & Social Science」をテーマに特別講義のコースを実施しました。SOI ASIAプロジェクトは、アジアにおけるIT人材教育を行うことを目的として研究を進めておりますが、今回のコースはIT以外の分野に焦点を当て、慶應大学湘南藤沢キャンパスの複数分野の教員によるオムニバス形式で8回の講義を実施いたしました。

経済を中心としたグローバル化が情報革命によって加速されるとともに、環境など取り組むべき問題も世界で共有されるようになっていきます。もちろん、問題それぞれの具体的な内実は国によって、地域によって異なるかもしれませんが、しかし、そうした違いを尊重しながら、共有された問題の発見、認識そして解決の処方箋作りとその実践のための協力が求められています。とくに日本が関係の深いアジア地域との協力は、日本の安全と繁栄にとって不可欠の条件となっています。

慶應義塾、とくにSFCは新しいネットワーク環境を活用したバーチャルな地域協力の先駆的な役割を果たしてきました。フィールドワークやインターンシップを活用したリアルな研究・教育の交流に加えて、アジアを含む国際化にも力を入れてきました。SOIの試みはその1つであり、その成果を踏まえて授業のウェブ化が今秋から本格的に開始され、その国際的な発信も考慮されています。また韓国や中国の大学との遠隔授業の実験もすでにはじまり、今秋から大学院の正式科目として単位交換がはじまります。

今回の「アジアの授業」もこうした試みの1つであり、今後は対象のアジア諸国の拡大、授業内容の充実化をはかり、アジアとの双方向性をもった協力を一層はかっしていきたいと考えています。

¹ SOI(School of Internet):

WIDEプロジェクト(代表:慶應義塾大学SFC研究所 所長 村井純)のワーキンググループの一つで、インターネット基盤上での新しい高等教育のあり方を研究する。

URL: <http://www soi wide ad jp/aboutsoi/about-soi-j-2001f.htm>

特別講義 実施概要

- ・ 実施期間 : 2002年6月18日~2002年7月18日 全8回
- ・ コース : IT & Social Science 2002 by KEIO University
- ・ 実施場所 : 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
- ・ 参加研究機関
 1. ブラビジャヤ大学 (Brawijaya University) インドネシア、マラン
 2. サムラトランギ大学 (Universtias Sam Ratulangi) インドネシア、メナド
 3. バンドン工科大学 (ITB : Institut Teknologi Bandung) インドネシア、バンドン
 4. AYF (Asian Youth Fellowship) マレーシア、クアラルンプール
 5. HELP Institute マレーシア、クアラルンプール
 6. ラオス国立大学 (National University of Laos) ラオス、ヴィエンチャン
 7. チュラロンコン大学 (Chulalongkorn University) タイ、バンコック
 8. AIT (Asian Institute of Technology) タイ、バンコック
 9. ハサヌディン大学 (Universitas Hasanuddin) インドネシア、マカッサル
 10. UCSY (University of Computer Studies, Yangon) ミャンマー、ヤンゴン
 11. IOIT (Institute of Information Technology) ベトナム、ハノイ
- ・ 参加者数 : 約 250 名、毎回平均約 80 名が受講。
- ・ 修了証発行者 : 84 名
- ・ 講義と日程 (<http://www soi wide ad jp/class/20020015>)
 - 第1回 6月18日 総合政策学部教授 梅垣 理郎
"International Relations, Interactive History and IT"
 - 第2回 6月20日 総合政策学部教授 阿川 尚之
"Peace and Prosperity in East Asia: Japan's Role in the 21st Century"
 - 第3回 7月1日 総合政策学部教授 花田 光世
"Changing HR Paradigm and Practices in Japan"
 - 第4回 7月2日 総合政策学部教授 福井 弘道
"Geo-informatics and Digital Asia"
 - 第5回 7月9日 環境情報学部教授 坂 茂
"Works and Humanitarian Activities"
 - 第6回 7月11日 環境情報学部教授 村井 純
"IT Strategy in Japan"
 - 第7回 7月16日 総合政策学部専任講師 吉田 浩之
"The Rise of the Network Society: Geo-Informatics as a foundation for empowerment"
 - 第8回 7月18日 大学院経営管理研究科教授 國領 二郎
"Businesses in a Networked Environment"修了式 7月30日 修了書授与式

各講義は、1時間の講義に30分の質疑応答時間という構成で進行しました。教員は、SFCキャンパス内に常設されたミニスタジオで授業を実施し、画面に映し出された対地大学の学生に向かって、PowerPoint、ビデオ映像、書画カメラによる印刷物の提示など、さまざまな資料を用いて講義を行いました。講義の様子は、衛星回線を通じて、高品質の映像・音声で複数の対地に届けられ、対地からのフィードバックは、各サイトのインターネット事情に応じて、映像・音声、音声のみ、文字のみ、といった形式を用いて双方向性を確保いたしました。

< 参考資料 >

表 1. リアルタイムで参加したサイトの参加者

1	ブラビジャヤ大学	経済、政治、商学、工学などの学部生を中心に、IT コースに参加した方たちも参加して、教室で受講。教室からも映像を送信。
2	サムラトランギ大学	法律、政治、工学、教育、水産などの各学部から参加して教室で受講。教室からも映像を送信。
3	ITB	技術系の学生を中心に数名がキャンパスに点在して個人受講。
4	AYF/HELP	バングラデッシュ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイなどからの留学生が約 30 名が参加。参加者の専攻は、テクノロジー系、国際商法、農学、バイオ、経済、政治など幅広く分布。AYF、HELP それぞれに教室で参加。AYF は教室からも映像を送信。
5	ラオス国立大学	工学系の教員を中心に、他各回の話題に興味のある教員も選択的に参加。教室で受講。文字でのみ質問。
6	チュラロンコン大学	工学、法律、政治など各学部より数名が教室で受講。文字でのみ質問。
7	AIT	技術系の学生を中心に十数名がキャンパスに点在して個人受講。

図 1. 参加者数 (サイト別)

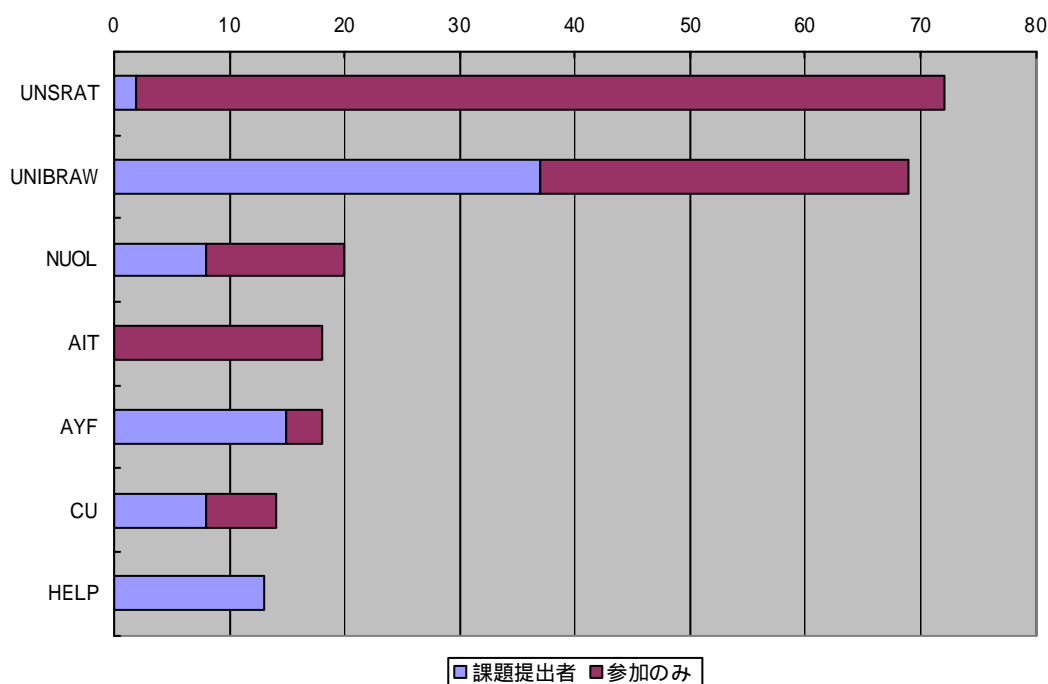


図2.参加者数(講義別)

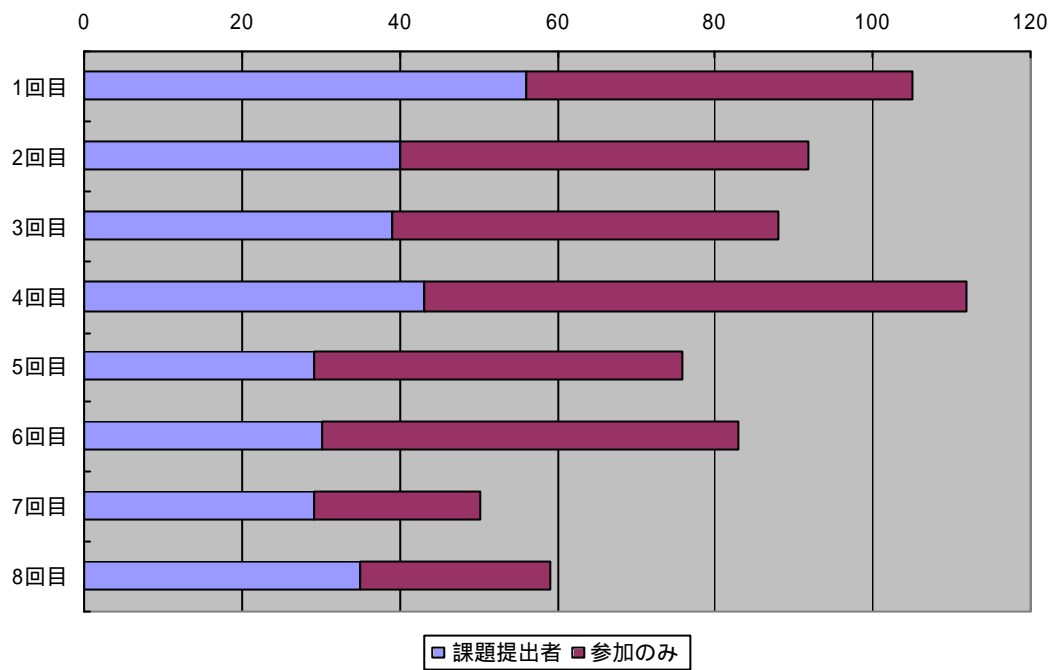


図3.質問数

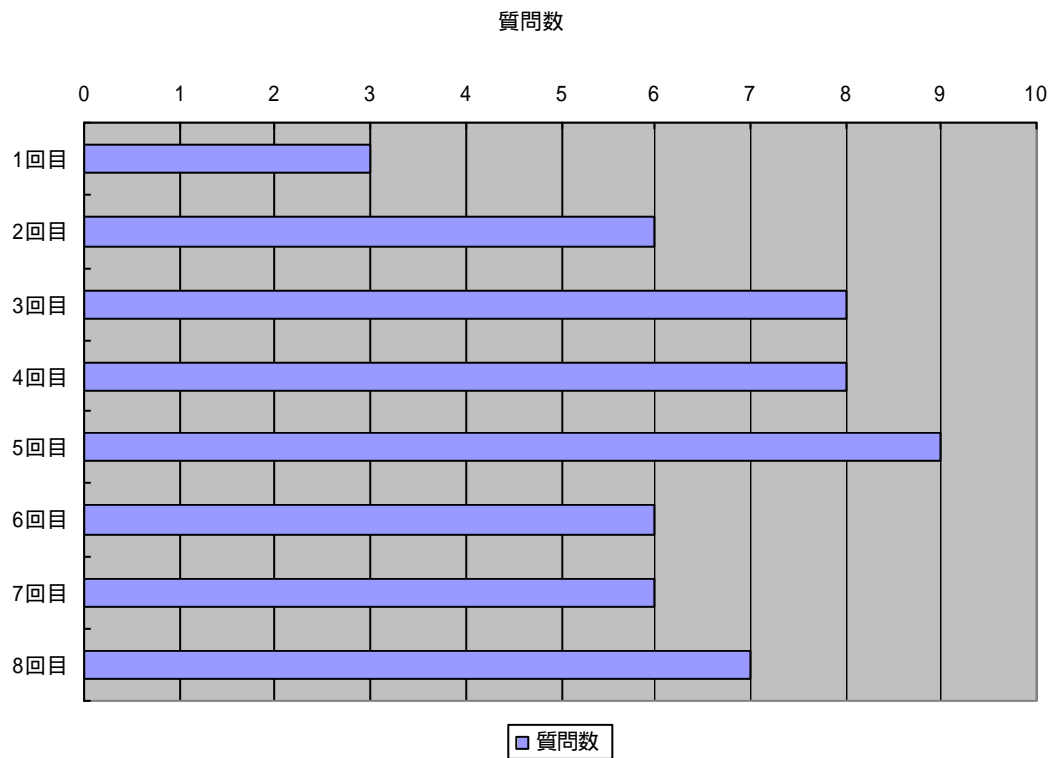


図4. この分野に興味があるか

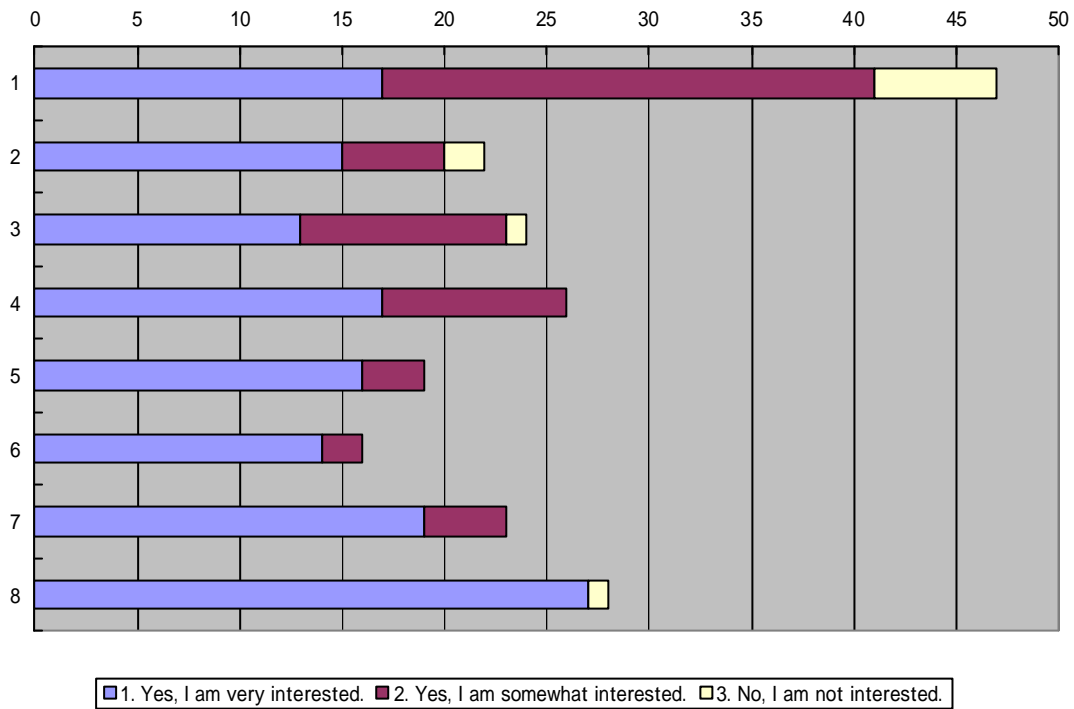


図5. このコースを受講するか？

